

仙人通信 214 甲州高尾山(1091m)・棚横手(1306m)

甲州高尾山・棚横手は、大菩薩から勝沼に繋がる尾根上にあるピークで、棚横手は山梨100名山の8番目の三等三角点の山でもある。

尾根の北側にある大滝不動尊の前の駐車場に車を置き、深山深沢林道をぶどうの丘方向に向かい、大善寺方向から来た道と合流し、剣ヶ峰・甲州高尾山そして棚横手をピストン後、高尾山手前のコースから展望台を経て車に戻るコースとした。

フサ桜・コブシが咲く林道を35分程進み展望台方向への林道と別れ、20分程で眼下に甲府の街並みや富士山・南アルプスが望めるポイントで、大善寺からのコースと合流だ。防災装置の横の階段から登山コースの始まりである。

このコースの南面は茅や低木、そして北面は檜等もあるも落葉樹ではほぼ360°の展望だ。10分程登ったろうか最初のピークの剣ヶ峰(標識は無し)である。

更に展望が良い2つ目のピークが高尾山の中央峰と思われるも標識が見当たらない(更に高い峰があることから中央峰と思われる)。大菩薩から連なる小金沢連峰・アンテナの立つ三つ峠や富士山と御坂山塊が、そして楡形山を代表する白根南嶺の上には、雪化粧した南アルプス・鳳凰三山・甲斐駒までもが望めた。東峰を経て25分で360°の眺望の富士見台の山頂である。更に3分で大滝神社へのコースとの分岐点だ。ここからは棚横手のピストンである。稜線から100m足らずの下に林道が常に見え、何かの時に安心だ・・・。

更に15分、急な尾根を登ると先程まで足の下に見えていた林道が登ってきて、登山道を横切る。道路脇の階段を登り15分程(スタートから2時間10分)で、山頂に立つ事ができた。山頂の北側は、檜や赤松で覆われて大菩薩方面は望めないも、昨夜降った雪で化粧した隣の尾根が深沢川の先に、更にその先には小金沢からの峰々だ。又南には丹沢の大室山等が・三つ峠等の御坂の尾根・その上に富士山である。山頂での風景を楽しんだ後、下山だ。

北側のカラマツの梢越しに甲斐駒や金峰等の奥秩父の峰々を望みながら20分程で、最初の大滝への下山道の分岐である。直ぐ下にある林道を進むコースの入り口だ。

富士見台をへて20分で、今日の下山コースの分岐点である。コースの入り口では、サンシュウの黄色い花が迎えてくれた。檜等に覆われたコースで、お勧めのコースとあるも、倒木で覆われており、コースを確認しながら15分程で林道に出る事が出来た。甲斐御岳神社を祀る展望台まで5分で到着だ。展望台は甲府盆地や南アルプスが最高である。林道に戻ると、林道横の柱に大滝方面を示す矢印があり、整備されたコースを進むと50m以上ある大滝(水量は少ないが・・・)が望め、奥社を経て滝を裏に持つ大滝不動尊に30分程でたどり着くことが出来た。丁度4時間(15600歩)の展望を楽しめた山旅でした。 (R3.3. 23)

棚横手の山頂

三つ峠から南アルプス

大滝

